

れんごう中越地協

第1178号2025.8.5
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
https://tyuuetu.net/

定価 1部10円
購読料は会費に含む



長岡空襲から80年 8月1日は長岡市恒久平和の日 第31回平和の森コンサートなど

長岡市では、長岡空襲のあった8月1日を恒久平和の日として定めています。この日にあわせて、7月31日(木)に平和の森公園で「第31回平和の森コンサート」が、8月1日(金)には、同公園で「平和祈願祭」、アオーレ長岡で「長岡市平和祈念式典」とながおか平和フォーラムが開かれました。

第31回を迎えた「平和の森コンサート」が、7月31日(木)午後6時から平和の森公園で開催され、約300人が参加しました。今年も地元アーティストを中心に、約2時間半にわたる多彩なステージが繰り広げられました。



行委員長のあいさつに続き、尺八とギターのコングラッシュが演奏されました。長岡市長のあいさつのは、男声合唱団「長岡メンネルコール」の皆さんや、コンサートには欠かせないデュオ「ひなた」が美しい歌声で会場を盛り上げました。ファイナルは「Masumi Yamamoto」



8月1日(金)午前9時から、アオーレ長岡で長岡市平和祈念式典が開催され、市内各地から小・中学生や市民など約850人が参加しました。この式典は長岡市が主催し、市議会、新教組長岡支部、そして連合中越も構成団体の一つである「長岡市非核平和都市宣言市民の会」が共催しています。地協からは五十

平和祈願祭

1日(金)午前8時から、平和の森公園(長岡市本町3)で、新教組長岡支部と長岡非核平和都市宣言市民の会による「2025平和祈願祭」が行われ360人を超える小・中学生と市民が参加しました。

この会は、平和像の前で長岡空襲で亡くなった子供たちや教職員など、犠牲となった方々への追悼の意を表するとともに、長岡空襲を語り継ぎ、非核・平和を誓う子どもたちを育てることを目的として開催されています。



8月1日アオーレ長岡では 平和祈念式典・平和フォーラムを開催

8月1日(金)午前9時から、アオーレ長岡で長岡市平和祈念式典が開催され、市内各地から小・中学生や市民など約850人が参加しました。

この式典は、昭和59年8月1日、戦災復興40年を迎えるにあたり、非核三原則の遵守と核兵器廃絶、世界恒久平和への願いを込めて長岡市が行ったものです。式典では、広島派遣中学生に、小学生が折った千羽鶴が託され、最後に派遣中学生による「平和の誓い」が発表され、式典は閉会しました。

式典は「語り継ぐ平和への想い」の映像放映、黙とうに続き、磯田市長が主催者あいさつで「今ある平和は、多くの尊い犠牲と復興に尽力した先人の努力の上にあることを忘れてはならない。戦後80年、恒久平和の実現に向け、市民とともに粘り強く取り組む」と述べました。続いて、各団体代表による献花が行われました。

その後、高校生が「非核平和都市宣言」を朗読。この宣言は、昭和59年8月1日、戦災復興40年を迎えるにあたり、非核三原則の遵守と核兵器廃絶、世界恒久平和への願いを込めて長岡市が行ったものです。式典では、広島派遣中学生に、小学生が折った千羽鶴が託され、最後に派遣中学生による「平和の誓い」が発表され、式典は閉会しました。

平和祈念式典に引き続き、午前10時15分からアオーレ長岡アリーナで「ながおか平和フォーラム」が開催され、市民など約150人が参加しま



た中学生が自らの作品や平和への思いを発表しました。

第2幕は、長岡市出身の女優・星野知子さんが「希望をつなぐ。この長岡から」と題して記念講演を行いました。講演では、故・金子登美さんの長岡空襲体験談を朗読し、長岡から平和の大切さを発信し続ける意義を語りました。

平和像について

長岡空襲の犠牲者1,480余名の中には、280名あまりの学童が含まれていました。このたいけな学童たちの霊を慰めるため、県教職員組合は全県下から寄附金を募り、像をつくりました。慰霊と平和への限りない願いを込めて「平和像」と名づけられ、1951年に長岡駅前広場に設置されました。その後、この平和像は悠久山公園、明治公園と移転しましたが、1996年、市民の平和への願いのシンボルとして新しく完成した平和の森公園に安住の地を得ました。平和像の中には、銅板に刻まれた「昭和二十年八月一日長岡市戦災学徒名簿」が納められています。

参院選 打越さくらさんが再選

7月3日公示、20日投票日に行われた第27回参議院議員通常選挙。新潟県選挙区では、連合推薦の打越さくらさんが見事に再選を果たしました。

また、全国比例区では、惜しくも連合推薦候補全員の当選には至りませんでした。打越さくらさんは、立憲民主党から4人の推薦候補が当選しました。

連合はこの選挙を「政権交代への確かなステップ」と位置づけ、「参議院での与党過半数割れ」を必達目標として、推薦候補全員の勝利に向けた取り組みを進めました。

中越地協では、打越さくらさん4区選対からの要請に応え、公営掲示板のポスター貼り、連日のおはよう行動、電話かけ、各種集会への参加など、多くの構成組織・単組・組合員の協力を得て活動を展開。各支部でも地域選対と連携し、必勝に向けた取り組みを進めました。

今回の勝利は、各構成組織・労働組合・組合員の皆様の粘り強い奮闘の結果として「参議院での与党過半数割れ」を実現し、心よりの感謝申し上げます。

一方、選挙戦を通じてSNS上での誹謗中傷など、社会の分断や差別を助長するような動きも見られました。私たちは、こうした風潮に抗し、「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざし、引き続き取り組んでいく必要があります。



打越さくらさん当選のあいさつ

開票日当選が決まると打越候補は「日々ご奮闘いただいた皆さん、ご支援いただいた皆さんに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。『新潟の暮らし、農業を守りたい』『この新潟から政治を変えていきたい』という思いが一票一票に託され、その積み重ねが勝利へとつながりました。物価高から暮らしを守る、農家への直接支払制度の実現など、訴えてきた政策を実現すべく、今後も全力で頑張ります。新潟から日本の政治を変えていきましょう」とあいさつしました。

矢島連合中越議長も応援演説に

「農業・食料・環境問題を学ぶ」事業

ユニバーサル農園「Oasis」第3回イベント「じゃがいも収穫&ヨモギ管理作業」

連合中越地協の「農業・食料・環境問題を学ぶ」事業の一環として、ユニバーサル農園「Oasis」で今年3回目となるイベント「じゃがいも収穫&ヨモギ畑の管理」が、7月19日(土)朝8時45分から開催されました。



今回もNPO法人UNEとの共催で行われ、連合関係者からは大人64名・子ども16名が参加。さらに見附市の養護施設の皆さんやフードバンク利用者など、多彩な顔ぶれが集い、総勢100名を超えるにぎやかなイベントとなりました。

当日は、まさに夏本番

の快晴。熱中症特別警戒アラートが発令されるほどの暑さの中、集合場所の「ふるさと」の森管理棟で受付を済ませ、農園へ移動。木陰の涼しさを感じながら開会式が行われました。

司会を務めた番場副実行委員長(連合)に続き、UNEの家老代表から「猛暑も農業の一部。体調に気を配りながら、ぜひ農作業を楽しんでほしい」との呼びかけがありました。続いて、遠見副実行委員長(こくみん共済COOP中越支所長)からの挨拶と作業説明を受け、作業がスタートしました。

最初の作業は、4月のイベントで植えたじゃがいもの収穫。3畝分の畑で、小さきまじまじじゃがいもを夢中になって掘り起こします。今年は猛暑の影響でやや小ぶりながらも、子どもたちは両手いっぱい収穫したじゃがいもを大事そうに運んでいました。



約40分間の収穫作業の後、木陰でしっかりと休憩。収穫したじゃがいもは一人一袋ずつ持ち帰り、ここでショートコース参加者は終了となりました。続いてロングコースの

参加者は、ヨモギ畑の管理作業に挑戦。乾燥後に業者へ販売され、農園の維持費に充てられる大切な作物です。

家老代表の説明のあと、事前に刈り取ってあったヨモギを丁寧に選別し、トラックに積み込む作業を協力しながら進めました。額に汗を光らせながらの作業も、仲間と声を掛け合ううちに自然と笑顔がこぼれます。

冷たいうどんとアイスでクールダウン！作業後のお楽しみは、UNE特製の「冷やしう

どん」ランチ。よもぎを練り込んだ手打ちうどんに、キュウリの浅漬けを丸ごと一本添えてさっぱりと。さらにデザートにはアイスキャンディーも振る舞われ、子どもも大人も「おいしい！」と歓声をあげながら頬張っていました。

最後はみんなで記念撮影を行い、イベントは笑顔のうちに締めくくられました。

なお、収穫したじゃがいも約60kgは「フードバンクなかおか」に寄贈され、地域支援にもつながる有意義な活動となりました。

次回のイベントは、10月25日(土)にサツマイモの収穫を予定しています。

SJネット委員会学習交流会 ユニオンパワーアップセミナー

SJネット委員会主催の学習交流会「ユニオンパワーアップセミナー」が、7月5日(土)に開催されました。

今回のセミナーは2部制で、第1部は「戦災資料館見学と学習会」で15時から長岡市戦災資料館で行いました。

最初に長岡空襲の解説ビデオを観た後、戦災資料館近藤館長から戦災資料館の取り組みなどをお話いただきました。そ

7月よりSJネット委員会役員になりました、電力総連の長谷川です。私からは先日開催されました、ユニオンパワーアップセミナーの中で実施いたしました「テンプルマナー講座」へ参加した感想について触れさせていただきます。

参加前は、私自身の「テンプルマナー」について知っていることといえば、「ナイフとフォークを使って食べること」や「スプーンは音を立てな

いであらゆるような程度のことしか知りませんでした。しかし実際にやってみると、カトラリーだけでなく使用順や持ち方、置き方など今まで知らなかったことが多くありました。これまで何気なく使ってきたフォーク・スプーンなどの正しい使い方を学ぶことができたことは、有意義な講習だったと感じました。

テンプルマナーは難しいものではなく、相手や



大切ですが、一番大事なのは、食事は楽しむものであるということ。思いやりと、食事を楽しむというのをあらためて考えるきっかけになる講習だったと思います。皆さんも機会があれば参加していただければと思います。

周囲の人を不快にさせないようにする思いやりから生まれたものとのことです。形式的にとらえるのではなく、相手を思いやるのが何より重要であり、思いやる心があれば自然と身につくようになることでした。そしてマナーを覚える事も

最低賃金引き上げの取り組み 市町村長に要請行動を実施 10月1日からの最低賃金の改定に向けて、地域別最低賃金については、中央最低賃金審議会での目安決定を受け、新潟地方最低賃金審議会および新潟県最低賃金専門部会で審議されます。各自自治体の最低賃金に関する理解浸透や中小企業・小規模事業者等への周知徹底につなげる観点から、連合新潟では各自自治体よ

中越地協でも、長岡市と出雲崎町に要請を行いました。また、各支部でも取り組みを進めて来ました。

連合中越第10回幹事会を7月17日(木)午後6時30分から地協事務所で開催しました。

開会のあいさつで矢島議長は「参院選も終盤を迎えている。連合推薦候補全員の当選を目指し、組合員への働きかけなど取り組みを今一度お願いしたい。また、小千谷支部内の一斉解雇問題について議論し了承されました。

連合中越第10回幹事会を開催 いては、構成組織と連携して支援していきたい。」とあいさつしました。

その後、報告事項、審議予定事項について議論を行いました。地協定期総会に向けた役員選考委員会の開催、最低賃金改定の取り組み、市政要望アンケート、政策学習会、支部活動予定などについて議論し了承されました。

***** 連合中越地協政策学習会 *****

カスタマーハラスメント防止セミナー

～働く人を守る！ノカスハラ職場づくりに向けて～

連合および各構成組織では、カスタマーハラスメント(いわゆる「カスハラ」)の防止に向けた取り組みを進めてきました。こうした中、先の国会において「労働施策総合推進法」の改正が行われ、カスタマーハラスメント防止に対する法的整備が進められています。また、長岡市でも「オール長岡でカスハラゼロのまちに！互尊都市長岡 ノカスハラ宣言」を行い、地域全体での取り組みが本格化しています。こうした社会的な流れを受け、連合中越ではカスタマーハラスメントの実態やその背景、現場での対応などを学ぶ機会として、本セミナーを企画しました。働く現場を守り、すべての人が安心して働ける環境づくりに共に考えましょう！

参加料 **無料**

日時 **8月22日(金) 18:30～19:30**

会場 **長岡市立劇場 3階 大会議室**
長岡市幸町2-1-2
※当日は信濃川側の管理玄関をご利用ください

参加対象 **連合加盟労働組合の組合員ならどなたでも**

講演 「労働施策総合推進法」の改正と連合の取り組み(仮)
連合本部総合政策推進局
ジェンダー平等・多様性推進局 菅村裕子氏

報告 長岡市「ノカスハラ宣言」の取り組みについて
長岡市コンプライアンス課、人材・働き方政策課

主催 **連合新潟 中越地域協議会**

TEL 0258-86-0111 (平日:9:00～17:00)
FAX 0258-86-0884
MAIL rengo.c@topaz.ocn.jp

お申込み・お問い合わせ
所属の労働組合
または 連合中越地域協議会